

に標本をもっているとのこと。アオドウガネも多くいると述べていた。

また少学生が神戸中央市場で採集したといつてオオシロカミキリ18(1-VI-1974)をもってきた。地方から荷物について来たのか或は市場付近にいるのかさだかでないが(奥谷先生の御教示によると六甲山にはいる由)。

尙本年は上記以外に多可郡千峰(2回)、赤穂市天和(恋ガ浜)(海浜性甲虫の調査・2回)等の調査をして新知見も得たのであるが余り長くなるので稿を改めて報告したい。

以上駄文で貴重な紙面を汚したことをお詫びする。

(10-X-1974)

<短 報>

ヒメハルゼミの新産地

奥 谷 禎 一

今年(1974)の調査によつて、兵庫県におけるヒメハルゼミの新産地2ヶ所発見されたので報告する。

1. 加西市河内町普光寺

発見者 市教委井上博明氏

この地域は普光寺自然環境保護地区83.4haに含まれる特別保護地区9.8haのコジイ・アラカンに優占される寺有林である。約10年位前から変つたセミがいるといわれてきたが、正体がわからなかつた。井上氏の採集した18で(16-VII-74)、確認でき、筆者も現地を視察した。

2. 猪名川町木津天沢寺境内約1haの天然林

発見者 矢野信道氏

筆者はまだ現地をおとずれていないが、矢野氏は先年淡路島諭鶴羽山で鳴声を充分知っているの間違いない。やはり本境内もシイを主体とするものとのことである。

今まで知られた産地は、但馬で豊岡市絹巻神社、城崎温泉附近と淡路島であるので、内陸部での発見は今後本種の分布論を考える上に大きな意味をもっている。なお岡山県では倉敷昆虫同好会の諸兄の努力にも拘らず、発見されていないことは開発との関連で大変興味あることである。